

w004002	[中間区] 中間神社	概要 適用
		<p>【概要】</p> <p>祭神他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本殿内に三神の記載(資料①)あり。 ・旬々能智神(ククノチガミ)は日本神話の木の神で国生みではイザナギ、イザナミの間に山の神オオヤマツミ(南九州に縁が深く、益救神社、宮之浦岳などの主祭神で伝説の山幸彦)に先立って生まれたとされる。 ・草野姫神(カヤノヒメカミ)はククノチガミの妹神で日本神話では草の神とされる。 ・屋船豊受姫(トヨフケヒメノカミ)食物穀物の女神で後に保食神や稲荷神と同一視されており、全国的に身近存在として祀られている。(←前記3項は文献①その他参照による記述) ・益救神社の分社と位置付けられていたとの記事(資料③)もある。 ・縁起、来歴についての言い伝えや記録はない。 ・昭和60年社歴表作成時の開扉記録として明治25年改築(棟札)、昭和36年改築の記載(文献①) <p>例大祭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春秋2度あり、「那須の与一」「花の敦盛」「高砂」の舞奉納<<郷土芸能 奉納舞——リンク>><<動画 奉納舞——リンク>>。
w004002001) 集落に接した森の中にある中間神社社殿		
		
w004002002 参道階段上が境内	w004002003 参道階段	w004002004 参道階段上の鳥居
		
w004002005 中間神社社殿 a	w004002006 中間神社社殿 b	w004002007 中間神社社殿 c
		<p>【立地】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館も近い集落の西端に隣接、標高40m程の高い位置にあり、急な参道階段から集落と浜が見下ろせる。 ・景観や位置的にいかにも村のよりどころにふさわしいたたずまいである。 ・地形的には山地の端にあって小山状になっており、周囲は亜熱帯要素の強い自然林を思わせる照葉樹林に覆われ、ガジュマルなど旺盛な緑が社殿に覆いかぶさるように繁茂している。 ・社殿裏の林内小平地に森山大明神があり、里、里山と奥岳信仰の関連(資料③)がしのばれる。 <p>【資料】</p>



w004002008
拝殿と本殿



w004002009
参道下鳥居の大祭幟



w004002010
秋大祭神事



w004002011
森山神から社殿屋根



w004002012
神社と森山大明神



w004002013
参道上から集落 a



w004002014
参道上から集落 b



w004002015
鳥居と森 a



w004002016
鳥居と森 b



w004002017
春季大祭奉納「高砂」



w004002018
大祭余興「華の敦盛」

- ① 屋久町郷土誌第1巻村落誌上
- ② 屋久島民俗誌 宮本常一
- ③ もっと知りたい屋久島一人と暮らし編 下野敏見

【写真】

w004002001)。
w004002002)集落道路から鳥居をくぐって急な階段がある。
w004002003)階段タテ位置
w004002004)上の鳥居と社殿の間は奉納の舞が演じられる広場になっている。
w004002005)社殿は広場の山よりに築いた石垣の上にある。
w004002006)社殿は樹木に覆われている。
w004002007)社殿前にガジュマルの気根。
w004002008)社殿は拝殿と本殿を繋げた建築になっている。
w004002009)秋大祭の幟。
w004002010)秋大祭神事。
w004002011)後ろにある森山大明神方向から社殿の屋根。
w004002012)中間神社後ろの林内小広場に森山大明神がある。
w004002013)参道階段から集落と海が見える。
w004002014)参道階段から集落と海が見える。
w004002015)参道下の鳥居と神社の森 中間神社は集落に接した照葉樹林に覆われたた高台にある。
w004002016)参道下の鳥居と神社の森(照葉樹林)。
w004002017)春季大祭奉納の「高砂」。
w004002018)春季大祭余興の「華の敦盛」。